

経営統合に向けて 人材交流を全国規模で拡大実施

～統合準備の連携強化と統合後を見据えた人材育成を強化～

明治生命保険相互会社（社長 金子亮太郎）と安田生命保険相互会社（社長 宮本三喜彦）は、経営統合に向けた全面提携の一環として、2002年10月1日から全国規模での人材交流を、以下のとおり実施します。

今春、本社部門の人材交流を行ないましたが、より一層の両社の融和および企業風土の相互理解を図り、統合準備におけるさらなる連携を深めるとともに、経営統合後を見据えた人材育成のため、今回は、本社部門に加え、全支社（両社合計162支社）へと範囲を大幅に拡大しました。

この結果、2002年10月1日時点で、350名以上の人材交流（関連・協力会社を含む）が実現します。

<人材交流の概要>

1. 全支社で人材交流を実施

将来の経営統合に向けて、新会社においても、お客さまのご要望にスムーズに対応できるアフターサービス体制を構築するため、2002年10月1日から全支社で、162名（両社81名ずつ）の人材交流（注）を実施します。

具体的には、各支社の事務職員を対象とし、両社の事務フロー、商品知識の習得・支社業務運営の理解を深めることで、両社の事務・商品に精通したインストラクターを育成していきます。

今後も、同様の人材交流を、順次行なう予定です。

（注）派遣方式による人材交流。3ヵ月ごとに交流対象事務職員の入れ替えを行ないます。

2. 本社部門の人材交流を拡大

両社の融和と統合準備作業における連携を深めるため、前回に引き続き、2002年10月1日付人事異動で20名（両社10名ずつ）の人材交流を実施します。

今回は、幅広い層の意欲ある職員を選抜するため、両社とも社内公募制を活用しました。同様の人材交流は、年明けにかけて、さらに拡大実施する予定です。

3. 共同システム開発に「共同オフィス」を活用

システム統合を確実にかつ効率的に遂行するため、2002年7月より両社共用のシステム開発スペースを確保し、関連・協力会社を含むシステム要員約150名が相互に交流し、約400名の要員が共同開発に取り組んでいます。

「共同オフィス」は、飯田橋・東陽町・新浦安の都内3ヵ所に設置し、協働作業を通じ相互理解を深めることで、システム統合作業の一層の円滑化をはかります。

（ご参考）これまでの人材交流の概要

- ・実施時期 2002年3月1日付および2002年4月1日付人事異動
- ・人数 24名（両社12名ずつ）
- ・部署 本社部門の11分野（個人保険部門6分野、資産運用部門3分野、人事部門、情報システム部門）